

2025年2月12日

ATP プレスリリース

全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)  
理事長 福浦与一

### 声明:テレビジョンの信頼回復に向けて

テレビ業界の信用失墜につながる事案に際し、ATPは(株)フジテレビジョンに要望書を送り、製作会社に不利益が及ばないよう特段の配慮を求めました。その要望に対し、本日付けで清水新社長より「ご要望として頂いた4つの項目に関しましても、独占禁止法や下請代金支払遅延等防止法等の関係法令を適正に遵守した上で、誠実に顧慮し真摯に対応してまいります。」との回答が届いたことをご報告いたします。

しかし昨年、会員社の営業利益・経常利益はともに平均10%以上減となり、製作会社を取り巻く状況は厳しさを増しています。番組予算削減の流れはこの数年止まる気配もなく、二次展開収入につながる著作権の確保も困難な状況です。

一方でコンテンツ産業は日本の基幹産業として位置づけられ、さらなる国際競争力も求められています。テレビ番組製作会社にはこれまで以上に大きな期待が寄せられている今、ATPとして関係各方面に向けて以下の声明を発表いたします。

- ① **放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン(第8版)を遵守する。**  
(事前協議・著作権の帰属・適切な取引価格の設定・フリーランス新法対応など)
- ② **制作現場から、あらゆる差別やハラスメントを撲滅する。**  
(放送局・代理店・出演者・スタッフが関わるすべての場面で)
- ③ **各局ガイドラインや適切な働き方にもとづいた良質なコンテンツ製作をめざす。**

ATPの歩みを振り返れば、民放番組の制作現場から日本のコンテンツ産業を支える製作会社の多くのトップクリエイターを輩出できた事は誇りでもあります。私たちは放送局のイコールパートナーとして、テレビ業界の信頼回復に取り組む所存です。共に切磋琢磨できる環境のなかでこそ、良質なコンテンツ製作が可能だと確信しています。引き続きのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

以上